

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月26日(2017.10.26)

【公開番号】特開2017-159165(P2017-159165A)

【公開日】平成29年9月14日(2017.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-035

【出願番号】特願2017-123107(P2017-123107)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月5日(2017.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の図柄が付された回転可能な複数のリールと、
 当選役の抽選を行う抽選手段と、
 所定の始動操作を契機として前記複数のリールを回転させたあとに、所定の停止操作を契機として回転中の前記複数のリールの夫々を前記抽選手段による抽選結果に基づいて停止位置で停止させる停止制御手段と、
を備え、
前記複数のリールの夫々の一部を視認可能な所定表示領域が設けられ、
前記複数の図柄には、異なる図柄態様ではあるものの図柄態様の一部が同一である類似図柄が含まれ、
前記所定表示領域には、前記停止制御手段によって前記リールが停止したときに、該リールに付された図柄が完全に視認可能とされる第 1 表示領域および該リールに付された図柄の一部が視認困難とされる第 2 表示領域とがあり、
前記第 2 表示領域で視認困難とされた図柄の一部を徐々に視認できるように制御する視認拡張手段と、
前記第 2 表示領域に前記類似図柄が表示された場合であっても前記視認拡張手段による制御を行うことによって当該類似図柄を一の図柄に特定させる完全露出手段と、
をさらに備え、
前記完全露出手段によって前記類似図柄を一の図柄に特定させたときに、前記複数のリールの全てに跨って前記類似図柄が現れ得るようになされており、
前記完全露出手段によって前記類似図柄を一の図柄に特定させたあとも前記視認拡張手段による制御を継続して実行することを可能としており、
前記類似図柄を一の図柄に特定させる制御が行われると遊技媒体を付与する特典とは異なる特典が付与されるようになされており、
前記第 1 表示領域の大きさそれ自体が不変とされる特定領域内に前記一の図柄に特定させる図柄が入り込むようになされている
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

しかし、上述した従来の遊技機は、遊技回数が増えていくと、表示窓内に同じ図柄組合せが現出されることが多く、興趣が向上しないおそれが少なからずあった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

そこで、本発明は、上述した課題に鑑み、遊技回数が増えたとしても表示窓内をより楽しませることができる遊技機の提供を目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

前記目的を達成するため、本発明は、複数の図柄が付された回転可能な複数のリールと、当選役の抽選を行う抽選手段と、所定の始動操作を契機として前記複数のリールを回転させたあとに、所定の停止操作を契機として回転中の前記複数のリールの夫々を前記抽選手段による抽選結果に基づいて停止位置で停止させる停止制御手段と、を備え、前記複数のリールの夫々の一部を視認可能な所定表示領域が設けられ、前記複数の図柄には、異なる図柄態様ではあるものの図柄態様の一部が同一である類似図柄が含まれ、前記所定表示領域には、前記停止制御手段によって前記リールが停止したときに、該リールに付された図柄が完全に視認可能とされる第 1 表示領域および該リールに付された図柄の一部が視認困難とされる第 2 表示領域とがあり、前記第 2 表示領域で視認困難とされた図柄の一部を徐々に視認できるように制御する視認拡張手段と、前記第 2 表示領域に前記類似図柄が表示された場合であっても前記視認拡張手段による制御を行うことによって当該類似図柄を一の図柄に特定させる完全露出手段と、をさらに備え、前記完全露出手段によって前記類似図柄を一の図柄に特定させたときに、前記複数のリールの全てに跨って前記類似図柄が現れ得るようになされており、前記完全露出手段によって前記類似図柄を一の図柄に特定させたあとも前記視認拡張手段による制御を継続して実行することを可能としており、前記類似図柄を一の図柄に特定させる制御が行われると遊技媒体を付与する特典とは異なる特典が付与されるようになされており、前記第 1 表示領域の大きさそれ自体が不変とされる特定領域内に前記一の図柄に特定させる図柄が入り込むようになされていることを特徴とする遊技機である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明によれば、遊技回数が増えたとしても表示窓内をより楽しませることができる遊技機を提供することができる。